単施設の研究

書式 06-1

間質性肺疾患に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「間質性肺疾患入院患者における入院前の睡眠薬・向精神薬使用実態」の研究を行うことになりました。

間質性肺疾患では、不安・抑うつや睡眠障害などを伴うことがありますが、日本人患者における睡眠薬・向精神薬の使用実態は十分に明らかになっていません。本研究では、入院時に薬剤師が確認した持参薬情報から入院前の睡眠薬・向精神薬の使用状況を調査し、今後の睡眠・精神面の支援や薬剤管理に役立てることを目的としています。

この研究のため、2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの 3 年間に、間質性肺疾患で東京医療センターに入院された方の診療録および入院時持参薬鑑別記録を調査します。調査項目は、年齢、性別、身体情報、間質性肺疾患に関する診療情報、在宅酸素療法、入院前のステロイド・免疫抑制薬、睡眠薬・向精神薬を含む処方薬の情報などです。本研究のために新たな検査、採血、投薬を行うことはありません。

調査した情報には研究用の番号を付け、研究用データには氏名、住所など個人を直接特定できる情報を含めません。研究データは国立病院機構東京医療センター薬剤部で厳重に管理します。研究結果は学会や専門雑誌等で報告されることがありますが、個人が特定される形で公表されることはありません。

ご自身の情報を研究に利用することを希望されない方は、下記までご連絡ください。その場合も診療上、不利益な扱いを受けることはありません。研究結果が公表される前であれば、研究利用を取りやめることができます。

この研究についてご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

2026 年 10 月

研究責任者

国立病院機構　東京医療センター 薬剤部

森村　明音

連絡先　03-3411-0111（代表）